



平成29(2017)年度

# 東京大学大学院工学系研究科 精密工学専攻 入試案内書

Guide to Entrance Examination 2017  
Department of Precision Engineering  
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo

精密工学専攻修士課程入試案内書 .....	1
Guide to selection procedure for master's program	
精密工学専攻博士後期課程入試案内書 .....	5
Guide to selection procedure for doctoral program	
精密系研究室紹介 .....	15
Introduction to laboratories	
入学志願者指導教員申告用紙 .....	19
Declaration form of professors whom the applicant desires to study under	

連絡先 (Contact)

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻事務室  
e-mail [kyoumu@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:kyoumu@pe.t.u-tokyo.ac.jp) tel. 03-5841-6445 fax. 03-5841-8556  
homepage <http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/>





平成 29（2017）年度  
東京大学大学院工学系研究科  
精密工学専攻修士課程  
入試案内書

Guide to selection procedure for master's program, 2017  
Department of Precision Engineering  
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo



平成 29 (2017) 年度  
東京大学大学院工学系研究科  
精密工学専攻修士課程  
入試案内書

1. 募集人員及び出願資格

平成 29 年度精密工学専攻における大学院修士課程の募集人員は、27 名であり、各教員の最大受け入れ可能人数は原則として 2~3 名である。入学志願者は大学院出願資格を有するものであれば、その出身、および資格取得年次を問わない。

2. 平成 28 年 9 月入学

本専攻では、平成 29 年 4 月入学のほか、平成 28 年 9 月入学を認めることがある。平成 28 年 9 月入学希望者は本専攻事務室に問い合わせること。

3. 指導教員の申告

大学院入学者は第 8 項に示すいずれかの教員の指導の下に研究を行う。入学志願者は研究指導を受けることを希望する教員（指導教員）を、規定の指導教員申告用紙（本冊子の最後の水色のページに綴じ込み）に記入して、8 月 30 日（火）の筆記試験の終了時に提出すること。終了時に提出する際に、指導教員申告用紙に記入した内容を修正することを認める。指導教員申告用紙には、志望教員を志望する順に 24 名（全員）まで申告することができる。教員ごとに受け入れ可能人数が決められているので、第 2 志望以下の教員が指導教員になる場合がある。また、志望が集中する指導教員だけを志望した場合は、不合格となる可能性がある。

4. 手続き方法

入学願書等の提出書類を郵送すること。

5. 試験日程

筆記試験

8 月 29 日（月）9 時 00 分~11 時 30 分	外国語*（英語：TOEFL ITP®）
13 時 00 分~15 時 30 分	数 学
8 月 30 日（火）9 時 00 分~11 時 00 分	物理学

（筆記試験 3 科目をすべて受験すること。また、8 月 30 日（火）には指導教員申告用紙を持参すること。筆記試験の終了時に提出する際に、指導教員申告用紙に記入した内容を修正することを認めるので、事前に記入しておくこと。）

## 口述試験

9月2日（金）8時30分～

研究内容・計画，志望動機，抱負等

（筆記試験の成績上位者のみ口述試験を実施する．なお，口述試験対象者は9月2日（金）8時15分に精密工学専攻の掲示板に掲示する．終了時刻は受験者により異なる．最も遅い場合には19時程度となる可能性があるため留意すること．口述試験の際にも筆記用具を持参すること．口述試験の段階で本専攻に入学する意思のない者は，口述試験を受験しないこと．）

※出願時に TOEFL (TOEFL PBT<sup>®</sup>， TOEFL iBT<sup>®</sup>) 公式スコアを提出できる志願者は，そのスコアを外国語（英語）試験に替えることもできる．必ず，「平成 29(2017)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語（英語）試験に関するお知らせ」を参照すること．TOEFL スコア提出を選択した場合には，TOEFL ITP<sup>®</sup>の受験はできない．

## 6. 試験場

### 筆記試験

外国語（英語：TOEFL ITP<sup>®</sup>） 別途案内（受験票発送時に外国語試験会場案内を同封する）

数 学，物理学

工学部 14 号館 1 階精密工学専攻講義室

口述試験

工学部 14 号館 3 階精密工学専攻会議室

（9月2日（金）8時30分までに工学部 14 号館 143 講義室に集合のこと）

## 7. 入試説明会

入試説明会を以下の日程で行う予定である．駒場リサーチキャンパスおよび本郷キャンパスにおいては，該当キャンパス内に在する研究室見学会も併せて開催される．なお，出願資格として説明会の出席を義務づけるものではないので，必要に応じて参加すること．詳細は専攻ホームページを確認すること．

5月7日（土） 大阪 千里ライフサイエンスセンター 602号室

<http://www.senrilc.co.jp/index.html>

住所：〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL：06-6873-2010

13時00分～14時30分 入試説明会

5月28日（土） 本郷キャンパス 工学部 14号館 1階 精密工学専攻 143講義室

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_15\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html)

13時00分～14時30分 入試説明会 / 14時30分～ 研究室見学会

6月4日（土） 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 As棟 3階 As303/304室

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>

12時30分～14時00分 入試説明会 / 14時00分～ 研究室見学会

## 8. 指導教員とその専門分野

精密工学専攻において研究指導にあたる教員名とその専門は次のとおりである。

(<http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/> を参照のこと)

教員	所属	専門分野
浅間 一 教授	本郷	サービスロボティクス, ヒューマンインタフェース, 身体脳機能モデリング
梅田 靖 教授	本郷	設計学, ライフサイクル工学, サステナビリティ・サイエンス
大竹 豊 准教授	本郷	形状処理, コンピュータグラフィックス
木下 裕介 講師	本郷	シナリオ設計学, エコデザイン, 社会システム
国枝 正典 教授	本郷	特殊加工, マイクロ加工, 金型
小林 英津子 准教授	本郷	医用精密工学, コンピュータ外科
佐久間 一郎 教授	本郷	医用生体工学, コンピュータ外科, 生体計測工学
神保 泰彦 教授	本郷	生体工学, 生体情報処理, 神経工学
須賀 唯知 教授	本郷	実装工学, インターコネクト・エコデザイン
鈴木 宏正 教授	本郷	3次元モデリング, デジタルエンジニアリング
高増 潔 教授	本郷	精密測定, ナノメートル計測
日暮 栄治 准教授	本郷	光エレクトロニクス実装, 光マイクロシステム, オプトメカトロニクス
三村 秀和 准教授	本郷	超精密加工, X線光学
山下 淳 准教授	本郷	ロボット工学, 画像処理, コンピュータビジョン
山本 晃生 准教授	本郷	メカトロニクス, アクチュエータ, 触力覚インタフェース
梶原 優介 准教授	生研	異材接合加工, テラヘルツ顕微技術
川勝 英樹 教授	生研	走査型プローブ顕微法, ナノメカニクス, ナノツール作製と制御
金 範俊 教授	生研	マイクロ要素構成学, バイオMEMS, ナノバイオセンシング
新野 俊樹 教授	生研	3Dプリンティング, Additive Manufacturing, 組織工学担体, MID
藤井 輝夫 教授	生研	マイクロ流体デバイス, 細胞工学応用デバイス, 深海現場計測
小谷 潔 准教授	先端研	生体信号処理, 非線形動力学, ヒューマンインタフェース
高橋 哲 教授	先端研	光応用ナノ加工・計測, 超解像, セルインマイクロファクトリ
太田 順 教授	人工物	ロボット工学, サービス工学, 生産システム工学
原 辰徳 准教授	人工物	サービス工学, 製品サービスシステム, 設計工学, 生産システム工学

(2016年4月1日現在) 本郷:本郷キャンパス, 生研:生産技術研究所(駒場リサーチキャンパス),  
 先端研:先端科学技術研究センター(駒場リサーチキャンパス),  
 人工物:人工物工学研究センター(柏キャンパス)

## 9. 問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻事務室

e-mail [kyoumu@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:kyoumu@pe.t.u-tokyo.ac.jp) Tel. 03-5841-6445 FAX 03-5841-8556

homepage <http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/>



平成 29（2017）年度  
東京大学大学院工学系研究科  
精密工学専攻博士後期課程  
入試案内書

Guide to selection procedure for doctoral program, 2017  
Department of Precision Engineering  
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo



**平成 29 (2017) 年度  
東京大学大学院工学系研究科  
精密工学専攻博士後期課程  
入試案内書**

### 1. 募集人員及び出願資格

平成 29 年度精密工学専攻における博士後期課程入試は、平成 28 年 8 月（出願日程 A. 以下 8 月入試）および平成 29 年 2 月（出願日程 B. 以下 2 月入試）にそれぞれ実施する。それぞれの募集人員は 8 月入試 12 名、2 月入試若干名である。入学志願者は博士後期課程出願資格を有するものであれば、その出身、および資格取得年次を問わない。出願資格については、平成 29 年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項を参照すること。また、本専攻では、官公庁、民間企業等に在職のまま就学することも認めている。本専攻では、出願者を以下のように大別して選考するので、志願者は自分の出願分類に従って受験要領を確認すること。（別表 A 試験一覧、別表 B 出願分類（ア）（イ）における本大学院本研究科以外の研究科及び別表 C 提出書類一覧を参照）

- （ア）本大学院本研究科及び別表 B に示す研究科の修士課程既修了者及び平成 28 年 9 月修了見込み者（\*注）
- （イ）本大学院本研究科及び別表 B に示す研究科の修士課程平成 29 年 3 月修了見込み者
- （ウ）本学及び他大学を問わず学士を取得し、修士課程を経ずに入学を希望する者（東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項第 1 項の出願資格において(7)(8)(9)(10)に相当する者。
- （エ）本大学院本研究科以外の修士又は専門職の学位を得た者及び平成 28 年 9 月 30 日までに修士又は専門職の学位を得る見込みの者（\*注）（但し、別表 B に示す研究科を除く）
- （オ）本大学院本研究科以外の修士又は専門職の学位を平成 29 年 3 月 31 日までに得る見込みの者（但し、別表 B に示す研究科を除く）

（\*注）2 月入試受験者においては、既修了者のみ

### 2. 指導教員の了承

入学志願者は研究しようとする題目および内容について研究指導を希望する教員に出願前に相談し、指導が可能であるとの了承を必ず得ること。この了承のない者は不合格とすることがある。

### 3. 入学時期

8 月入試を受験し合格した場合には、平成 29 年 4 月入学のほか、平成 28 年 9 月入学を認めることがある。希望者は、東京大学大学院工学系研究科 博士課程学生募集要項の工学系研究科博士課程入学願書の該当欄に○印を付けること。

2 月入試を受験し合格した場合には、平成 29 年 4 月入学とする。

### 4. 選考方法

- （1）選考は、第一次試験及び第二次試験による。（別表 A 参照のこと）

## (2) 第一次試験の選考方法

- ・第一次試験は、筆記試験及び口述試験からなる。
- ・筆記試験は、外国語（英語）の試験と専門に関する小論文である。筆記試験については、本大学院本研究科及び別表Bに示す研究科の修士課程既修了者ならびに修了見込み者〔（ア）、（イ）〕は受験を要しない。なお、2月入試においては、外国語（英語）の試験は、TOEFL (TOEFL PBT<sup>®</sup>, TOEFL iBT<sup>®</sup>) 公式スコアの提出により替えるものとする。
- ・本学大学院修士課程又は専門職学位課程を修了した者又は修了見込みの者については、外国語（英語）試験を省略する。
- ・小論文は、論述を中心とした内容を出題する。問題は、下記の7科目から出題され、その中から2科目を選択すること。キーワード等詳細は6月頃精密工学専攻ホームページ (<http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/>) に掲載する。
  - ・ 計測工学
  - ・ 精密加工学
  - ・ マイクロシステム材料学
  - ・ メカトロニクス・ロボティクス
  - ・ 生産システム工学
  - ・ 設計システム工学
  - ・ バイオ・メディカル
- ・口述試験においては、修士論文（または相当論文）と今後の研究計画に関して発表すること。その後、発表内容と本案内第6項の指示に従い予め提出された資料に対して試問を行う。発表に際しては、発表の概要を記した資料（研究概要及び研究計画書とは別）を26部用意し、口述試験会場に持参すること。発表において、プロジェクトを利用することが可能である。但し、プロジェクトを使用する場合にはPCを持参の上、予め接続確認を行うこと。
- ・口述試験は、平成28年9月修士課程修了見込みの者〔（ア）のうち9月修了見込みの者、（エ）のうち9月修了見込みの者〕については行わない。また、本専攻修士課程平成29年3月修了見込みの者〔（イ）のうち本専攻の者〕に対しては原則的には行わないが、状況によっては実施する場合がある。本案内第7項の掲示を必ず確認すること。

## (3) 第二次試験の選考方法

- ・修士課程既修了者で入学を希望する者〔（ア）のうち既修了の者、（エ）のうち既修了の者〕および修士課程を経ずに入学を希望する者〔（ウ）〕に対しては、第一次試験における口述試験が第二次試験を兼ねる。
- ・その他の者〔（ア）のうち9月修了見込みの者、（イ）、（エ）のうち9月修了見込みの者、（オ）〕は、修士論文（または相当論文）の内容等について試問を行う。試問においては、論文の内容を発表すること。発表に際しては、発表の概要を記した資料（研究概要及び研究計画書とは別）を26部用意し、口述試験会場に持参すること。発表において、プロジェクトを利用することが可能である。但し、プロジェクトを使用する場合にはPCを持参の上、予め接続確認を行うこと。

## 5. 選考時期

### (1) 8月入試（出願日程A）

- ・修士課程平成29年3月修了見込みの資格で受験する者〔（イ）、（オ）〕に対する第一次試験は、平成28年8月29日より9月2日までの間に行われ、その合格者に対して、平成29年2月に第二次試験

が行われる。この場合の第二次試験の詳細な日程は、別途通知する。

- ・修士課程既修了者、平成 28 年 9 月修了見込み者及び修士課程を経ずに入学を希望する者〔(ア)、(ウ)、(エ)〕に対しては、第一次試験及び第二次試験が平成 28 年 8 月 29 日より 9 月 2 日までの間に行われる。

(2) 2 月入試 (出願日程 B)

- ・第一次試験及び第二次試験が平成 29 年 2 月上旬から中旬の間に行われる。期日・場所は追って通知する。

## 6. 提出書類

東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項第 7 項の提出書類に加え、以下のものを提出すること。なお、提出書類は、英語で記述してあってもよい。(別表 C 参照)

(1) 8 月入試の提出書類と提出時期

(a) 第一次試験に関連する提出書類

下記の書類を、平成 28 年 7 月 14 日 (木) 午前 11 時までに、精密工学専攻事務室へ郵送 (必着) もしくは持参すること。

- ・研究概要及び研究計画書

志願者は全員、研究概要 (今までに行った研究の内容について、その概要を A4 用紙 1 ページ程度に記したもの)、及び本専攻博士後期課程入学後の研究計画書 (研究課題、研究目的、特色と意義、研究の方法などを A4 用紙 2 ページ程度に記したもの) を各 26 部ずつ提出すること。これらの書類は、研究指導を希望する教員と相談の上、研究指導を希望する教員が定める様式に基づいて志願者自ら作成すること。

- ・修士論文の中間報告書

本専攻以外の修士課程平成 29 年 3 月修了見込み者〔(イ)のうち本専攻以外の者及び(オ)〕は、修士論文の中間報告書 (A4 用紙 10 から 20 ページ程度) を 2 部提出すること。

- ・研究実績書及び研究論文等リスト

修士課程を経ずに入学を希望する者〔(ウ)〕は、主要な研究実績の説明 (今までに行った研究のなかで主要なものについて、その概要を A4 用紙 10 から 20 ページ程度にまとめたものに主要既発表論文を添付したもの) 及び研究論文等リスト (A4 用紙に、学会誌研究論文、総説・解説論文、口頭発表、その他の項目に分けて示すこと) を、各 2 部ずつ提出すること。

(b) 第二次試験に関連する提出書類

- ・修士論文または相当論文<sup>\*1</sup>

修士課程既修了者〔(ア)のうち既修了者、(エ)のうち既修了者〕については平成 28 年 7 月 14 日 (木) 午前 11 時までに、平成 28 年 9 月修了見込みの者〔(ア)のうち 9 月修了見込みの者、(エ)のうち 9 月修了見込みの者〕については平成 28 年 8 月 25 日 (木) 午前 11 時までに、修士論文 (または相当論文) を 2 部、精密工学専攻事務室へ郵送 (必着) もしくは持参すること。修士課程平成 29 年 3 月修了見込みの資格で受験する者〔(イ)、(オ)〕は、平成 29 年 2 月の指定する日までに、修士論文 (または相当論文) を 2 部、精密工学専攻事務室まで提出すること。修士課程を経ずに入学を希

---

<sup>\*1</sup> 自らが主として行った研究に関する単著の論文に限る。学会のプロシーディングスや公表論文をそのまま提出することは認めない。分量は A4 用紙 20 ページ以上とする。

望する者〔ウ〕は提出を要しない。なお、修士論文が英語・日本語以外の言語で書かれている場合には、英語（1,200Word以上）または日本語（2,000字以上）の要約を添付すること。

## (2) 2月入試の提出書類と提出時期

下記の書類を、平成28年12月1日（木）午前11時までに、精密工学専攻事務室へ郵送（必着）もしくは持参すること。

### ・ 研究概要及び研究計画書

志願者は全員、研究概要（今までに行った研究の内容について、その概要をA4用紙1ページ程度に記したもの）、及び本専攻博士後期課程入学後の研究計画書（研究課題、研究目的、特色と意義、研究の方法などをA4用紙2ページ程度に記したもの）を各26部ずつ提出すること。これらの書類は、研究指導を希望する教員と相談の上、研究指導を希望する教員が定める様式に基づいて志願者自ら作成すること。

### ・ 研究実績書及び研究論文等リスト

修士課程を経ずに入学を希望する者〔ウ〕は、主要な研究実績の説明（今までに行った研究のなかで主要なものについて、その概要をA4用紙10から20ページ程度にまとめたものに主要既発表論文を添付したもの）及び研究論文等リスト（A4用紙に、学会誌研究論文、総説・解説論文、口頭発表、その他の項目に分けて示すこと）を、各2部ずつ提出すること。

### ・ 修士論文または相当論文<sup>\*2</sup>

修士課程既修了者については、修士論文（または相当論文）を2部提出すること。但し、修士課程平成29年3月修了見込みの資格で受験する者〔イ〕、〔オ〕は、平成29年2月の指定する日までに、修士論文（または相当論文）を2部、精密工学専攻事務室まで提出すること。修士課程を経ずに入学を希望する者〔ウ〕は提出を要しない。なお、修士論文が英語・日本語以外の言語で書かれている場合には、英語（1,200Word以上）または日本語（2,000字以上）の要約を2部添付すること。

## 7. 試験日程および試験会場

### (1) 8月入試（第一次試験）

#### (a) 筆記試験の試験日程および試験会場

8月29日（月） 9時～11時30分 外国語<sup>\*</sup>（英語：TOEFL ITP<sup>®</sup>）

試験会場： 別途案内（受験票発送時に外国語試験会場案内を同封する）

8月29日（月） 13時～15時 専門学術（小論文）

試験会場： 工学部14号館3階精密工学専攻146講義室

※出願時にTOEFL（TOEFL PBT<sup>®</sup>、TOEFL iBT<sup>®</sup>）公式スコアを提出できる志願者は、そのスコアを外国語（英語）試験に替えることもできる。必ず、「平成29(2017)年度東京大学大学院工学系研究科大学院入学試験外国語（英語）試験に関するお知らせ」を参照すること。TOEFLスコア提出を選択した場合には、TOEFL ITP<sup>®</sup>の受験はできない。

#### (b) 口述試験の試験日時および試験会場

9月1日（木） 13時～

試験会場： 工学部14号館精密工学専攻会議室もしくは講義室

口述試験の対象となる志願者名と日時の詳細については、平成28年8月26日（金）午前10時に

---

<sup>\*2</sup> 自らが主として行った研究に関する単著の論文に限る。学会のプロシーディングスや公表論文をそのまま提出することは認めない。分量はA4用紙20ページ以上とする。

精密工学専攻の掲示板に掲示する。

(2) 2月入試（第一次試験ならびに第二次試験）

平成29年2月上旬から中旬の間に行われる。期日・試験会場は追って通知する。

(a) 筆記試験の試験日程

2月上旬から中旬の間に専門学術（小論文）試験を行う。

外国語（英語）試験は、TOEFL (TOEFL PBT<sup>®</sup>, TOEFL iBT<sup>®</sup>) 公式スコアにより替えることとするため、特定の試験は実施しない。

(b) 口述試験の試験日時

2月上旬から中旬の間に口述試験を行う。

口述試験の対象となる志願者名と日時、試験会場の詳細については、別途通知する。

## 8. 研究指導にあたる教員とその専門分野

別表Dを参照すること。

## 9. 入試説明会

入試説明会を以下の日程で行う予定である。駒場リサーチキャンパスおよび本郷キャンパスにおいては、該当キャンパス内に在する研究室見学会も併せて開催される。なお、出願資格として説明会の出席を義務づけるものではないので、必要に応じて参加すること。詳細は専攻ホームページを確認すること。

5月7日（土） 大阪 千里ライフサイエンスセンター 602号室

<http://www.senrilc.co.jp/index.html>

住所：〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

TEL：06-6873-2010

13時00分～14時30分 入試説明会

5月28日（土） 本郷キャンパス 工学部14号館1階 精密工学専攻143講義室

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_15\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html)

13時00分～14時30分 入試説明会 / 14時30分～ 研究室見学会

6月4日（土） 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 As棟3階 As303/304室

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>

12時30分～14時00分 入試説明会 / 14時00分～ 研究室見学会

## 10. 問い合わせ先

不明な点は、下記へ問い合わせること。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻事務室

e-mail [kyoumu@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:kyoumu@pe.t.u-tokyo.ac.jp) Tel. 03-5841-6445 FAX 03-5841-8556

homepage <http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/>

## 別表 A 試験一覧

出身				第一次試験		第二次試験
記号	研究科	既修了・ 修了見込み	専攻	筆記試験	口述試験	論文審査
(ア)	本研究科	既修了者	—	なし	あり	口述と兼用 (8月 <sup>*4</sup> )
	・別表 B	9月修了見込みの者 <sup>*3</sup>	—	なし	なし	あり (8月)
(イ)	本研究科	3月修了見込みの者	本専攻	なし	なし <sup>*1</sup>	あり (2月)
	・別表 B	3月修了見込みの者	他専攻	なし	あり	あり (2月) <sup>*5</sup>
(ウ)	学部卒等	—	—	あり	あり	口述と兼用 (8月 <sup>*4</sup> )
(エ)	他研究科 <sup>*2</sup>	既修了者	—	あり	あり	口述と兼用 (8月 <sup>*4</sup> )
	・他大学	9月修了見込みの者 <sup>*3</sup>	—	あり	なし	あり (8月)
(オ)	他研究科 <sup>*2</sup>	3月修了見込みの者	—	あり	あり	あり (2月) <sup>*5</sup>
	・他大学					

\*1 定員を上まわった場合、または提出された研究概要や研究計画書に疑義のあった場合に実施する。

\*2 但し、別表 B に示す研究科を除く。

\*3 8月入試の場合のみ適用。

\*4 記載は8月入試の場合。2月入試においては2月に実施。

\*5 2月入試においては第一次試験の口述試験と兼用。

## 別表 B 出願分類 (ア) (イ) における本大学院本研究科以外の研究科

研究科	備考
本大学院情報理工学系研究科	当該研究科の全専攻を対象とする。
本大学院新領域創成科学研究科	但し、物質系専攻、先端エネルギー工学専攻、基盤情報学専攻、複雑理工学専攻、人間環境学専攻に限る。それ以外の専攻については、出願分類 (エ)、(オ) として扱う。

別表 C 提出書類一覧

出身				第一次試験				第二次試験
記号	研究科	既修了・ 修了見込み	専攻	工学系への 書類（志願 者名票な ど）	研究概要 及び研究 計画書	修士論文 の中間報 告書	研究実績書 及び研究論 文等リスト	修士論文 (相当論文)
(ア)	本研究科 ・別表 B	既修了者	—	工学系研究 科事務室へ 郵送で提出	26 部	不要	不要	2 部
		9 月修了見込みの者 <sup>*8</sup>	—		26 部	不要	不要	2 部
(イ)	本研究科 ・別表 B	3 月修了見込みの者	本専攻		26 部	不要 <sup>*6</sup>	不要	2 部
		3 月修了見込みの者	他専攻		26 部	2 部	不要	2 部
(ウ)	学部卒等	—	—		26 部	不要	2 部	不要
(エ)	他研究科 <sup>*7</sup> ・他大学	既修了者	—		26 部	不要	不要	2 部
		9 月修了見込みの者 <sup>*8</sup>	—		26 部	不要	不要	2 部
(オ)	他研究科 <sup>*7</sup> ・他大学	3 月修了見込みの者	—		26 部	2 部	不要	2 部

\*6 口述試験のある場合は指示に従うこと。

\*7 但し、別表 B に示す研究科を除く。

\*8 8 月入試の場合のみ適用。

## 別表D 研究指導にあたる教員とその専門分野

(<http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/> を参照のこと)

精密工学専攻において研究指導にあたる教員名とその専門は次のとおりである。

教員	所属	専門分野
浅間 一 教授	本郷	サービスロボティクス, ヒューマンインタフェース, 身体脳機能モデリング
梅田 靖 教授	本郷	設計学, ライフサイクル工学, サステナビリティ・サイエンス
大竹 豊 准教授	本郷	形状処理, コンピュータグラフィックス
木下 裕介 講師	本郷	シナリオ設計学, エコデザイン, 社会システム
国枝 正典 教授	本郷	特殊加工, マイクロ加工, 金型
小林 英津子 准教授	本郷	医用精密工学, コンピュータ外科
佐久間 一郎 教授	本郷	医用生体工学, コンピュータ外科, 生体計測工学
神保 泰彦 教授	本郷	生体工学, 生体情報処理, 神経工学
鈴木 宏正 教授	本郷	3次元モデリング, デジタルエンジニアリング
高増 潔 教授	本郷	精密測定, ナノメートル計測
日暮 栄治 准教授	本郷	光エレクトロニクス実装, 光マイクロシステム, オプトメカトロニクス
三村 秀和 准教授	本郷	超精密加工, X線光学
山下 淳 准教授	本郷	ロボット工学, 画像処理, コンピュータビジョン
山本 晃生 准教授	本郷	メカトロニクス, アクチュエータ, 触力覚インタフェース
梶原 優介 准教授	生研	異材接合加工, テラヘルツ顕微技術
川勝 英樹 教授	生研	走査型プローブ顕微法, ナノメカニクス, ナノツール作製と制御
金 範埃 教授	生研	マイクロ要素構成学, バイオMEMS, ナノバイオセンシング
新野 俊樹 教授	生研	3Dプリンティング, Additive Manufacturing, 組織工学担体, MID
藤井 輝夫 教授	生研	マイクロ流体デバイス, 細胞工学応用デバイス, 深海現場計測
小谷 潔 准教授	先端研	生体信号処理, 非線形動力学, ヒューマンインタフェース
高橋 哲 教授	先端研	光応用ナノ加工・計測, 超解像, セルインマイクロファクトリ
太田 順 教授	人工物	ロボット工学, サービス工学, 生産システム工学
原 辰徳 准教授	人工物	サービス工学, 製品サービスシステム, 設計工学, 生産システム工学

(2016年4月1日現在) 本郷:本郷キャンパス, 生研:生産技術研究所(駒場リサーチキャンパス),  
 先端研:先端科学技術研究センター(駒場リサーチキャンパス),  
 人工物:人工物工学研究センター(柏キャンパス)



平成 29 (2017) 年度  
東京大学大学院工学系研究科  
精密系研究室紹介

Introduction to Laboratories, 2017  
Department of Precision Engineering  
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo

研 究 室  
紹 介

Homepage <http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/>

入試説明会を以下の日程で行う予定である。駒場リサーチキャンパスおよび本郷キャンパスにおいては、該当キャンパス内に在する研究室見学会も併せて開催される。なお、出願資格として説明会の出席を義務づけるものではないので、必要に応じて参加すること。詳細は専攻ホームページを確認すること。

- 5月7日(土) 大阪 千里ライフサイエンスセンター 602号室  
<http://www.senrilc.co.jp/index.html>  
住所：〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
TEL：06-6873-2010  
13時00分～14時30分 入試説明会
- 5月28日(土) 本郷キャンパス 工学部14号館1階 精密工学専攻143講義室  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_15\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html)  
13時00分～14時30分 入試説明会 / 14時30分～ 研究室見学会
- 6月4日(土) 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所As棟3階As303/304室  
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>  
12時30分～14時00分 入試説明会 / 14時00分～ 研究室見学会

**浅間研究室 [サービスロボティクス]**

本郷

**浅間 一 教授**  
Hajime ASAMAサービスロボティクス  
ヒューマンインタフェース  
身体脳機能モデリング

人が満足するサービス供給の方法論の確立を目指し、サービス工学の研究を行っています。人が人工物を使うことに焦点をあて、ロボット技術やユビキタス技術を基盤として、基礎的研究からアシスト、レスキュー、セキュリティなどへの応用まで取り組んでいます。

●人を知る：人の行動計測・モデル化、移動知（生物の適応行動メカニズムの理解）●人と接する：空間知能化、サービスロボット、人の判別・行動予測・導線誘導、動的情報提示●人が使う：介護（起立動作支援）、レスキュー（被災者探索）、セキュリティ（不審者検出）

Website: <http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/asamalab/> E-mail: [asama@robot.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:asama@robot.t.u-tokyo.ac.jp)**梅田研究室 [サステナビリティ設計学]**

本郷

**梅田 靖 教授**  
Yasushi UMEDA設計学  
ライフサイクル工学  
サステナビリティ・サイエンス

工学の最終的な目標は科学技術を活用して社会に価値をもたらすことです。それを実現する行為が「設計」です。人間の知的活動としての設計を支援する方法論を研究しています。特に、環境問題解決や持続可能社会実現といった社会的な課題のモデル化と設計による解決を実践的に目指します。●環境問題解決のための製品ライフサイクル設計支援●創造的な設計を支援する機能モデリングと機能設計支援●人工物の一生をマネジメントするライフサイクル工学●途上国のニーズに寄り添う現地主義ものづくり方法論

Website: <http://www.susdesign.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [umeda@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:umeda@pe.t.u-tokyo.ac.jp)**大竹研究室 [形状処理工学]**

本郷

**大竹 豊 准教授**  
Yutaka OHTAKE形状処理  
コンピュータグラフィックス

計算機上で形状を扱うための技術の研究をしています。主に、三次元形状スキャンングより得られた複雑な形状を表すデータを扱っており、高速・高精度・頑健な形状処理アルゴリズムの提案を目標としています。また、基盤アルゴリズムを応用したソフトウェア開発も行っていきたいと考えています。●表面スキャン点群や断面画像列（CTデータ）における物体表面の高精度推定●陰関数曲面を用いた高品質な形状表現●微量量に基づくスキャン形状の特徴検出●スキャン形状からの物理シミュレーション用メッシュの自動生成

Website: <http://www.den.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [ohtake@den.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:ohtake@den.t.u-tokyo.ac.jp)**木下研究室 [社会システム設計学]**

本郷

**木下 裕介 講師**  
Yusuke KISHITAシナリオ設計学  
エコデザイン  
社会システム

人間と地球にやさしい社会を目指して、実世界の複雑な社会システムを科学的かつ俯瞰的に設計するための方法論を研究しています。計算機を用いてさまざまな社会システムをモデル化すると同時に、現地調査や異分野との連携を通して具体的な場を用いた実践に取り組みます。

●持続可能なエネルギーシステム設計のためのシナリオシミュレーション●将来社会ビジョンを描くための参加型シナリオ設計手法●中山間地域を対象としたバイオマスエネルギーシステムの設計●市場における耐久消費財の将来普及予測●次世代製造業のビジョン設計支援

Website: <http://www.susdesign.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [kishita@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:kishita@pe.t.u-tokyo.ac.jp)**国枝研究室 [特殊加工]**

本郷

**国枝 正典 教授**  
Masanori KUNIEDA特殊加工  
マイクロ加工  
金型

放電や電解などを利用して、難加工材料をより高精度に、より微細に加工するための方法を研究しています。また、加工の物理現象の解明を行い、不可能を可能にする革新的な加工法を開発することによって、高付加価値なものづくりに貢献しています。

●放電加工現象の解明●放電加工のシミュレーション●微細放電加工の研究●電解液ジェットを用いた微細電解加工●積層板の拡散接合による高機能金型の製作

Website: <http://www.edm.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [kunieda@edm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:kunieda@edm.t.u-tokyo.ac.jp)**小林研究室 [治療支援工学]**

本郷

**小林 英津子 准教授**  
Etsuko KOBAYASHI医用精密工学  
コンピュータ外科

人々の生活の質（QOL）を向上させる環境・ものの実現を目指し、メカトロニクス技術を用いた低侵襲外科手術支援システムの研究を行っています。先端のかつ実用的なシステムとして、要素技術から実用化研究まで行ってきたいと考えています。

●低侵襲腹部外科手術支援ロボットシステムの研究●MRI誘導下手術支援システムの研究●高機能内視鏡の開発●高機能治療器とロボットの融合●医療用アクチュエータに関する研究

Website: <http://www.bmpe.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [etsuko@bmpe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:etsuko@bmpe.t.u-tokyo.ac.jp)**佐久間研究室 [医用精密工学]**

本郷

**佐久間 一郎 教授**  
Ichiro SAKUMA医用生体工学  
コンピュータ外科  
生体計測工学

低侵襲で安全な治療を実現する精密標的治療のための手術支援ロボットシステム・病変部位可視化・手術ナビゲーションシステムの開発、生体応答の人工的制御による心臓不整脈治療の研究などを通じて、より良い生活環境・医療環境の実現を目指します。●精密標的治療支援メカトロニクスの研究●手術支援ロボティクス研究●治療ナビゲーションのための術中生体計測技術の研究●生体応答の人工的制御による心臓不整脈治療に関する研究●遺伝子治療技術・分子イメージング等に応用した医療デバイスの研究●生体機能精密測定技術の研究

Website: <http://www.bmpe.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [sakuma@bmpe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:sakuma@bmpe.t.u-tokyo.ac.jp)**神保研究室 [神経工学]**

本郷

**神保 泰彦 教授**  
Yasuhiko JIMBO生体工学  
生体情報処理  
神経工学

工学技術の利用により新たな計測手法を開発、脳神経系の現象解明と医療応用を目指す研究分野を神経工学と呼んでいます。脳はどのように情報を学習し記憶しているか、アルツハイマー病など神経変性疾患はなぜ発生し広がるのか、iPS細胞から分化誘導した組織の利用により治療は可能か、などの視点から研究を進めています。

●神経回路活動の時空間計測●人工神経回路形成●記憶・学習の神経回路メカニズム●神経変性疾患モデル●心拍制御 in vitro モデル●iPS細胞由来心筋細胞と生体由来組織の結合

Website: <http://neuron.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [jimbo@neuron.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:jimbo@neuron.t.u-tokyo.ac.jp)

**須賀研究室 [実装工学]**

本郷

**須賀 唯知 教授**  
Tadatomo SUGA実装工学  
インターコネクト・エコデザイン

持続型循環社会の実現のための手法を、ナノスケールの接合界面のデザインという要素技術と、グローバル循環の評価というマクロなエコデザインの二方向から実現しようとしています。具体的には、世界にも例のない「常温接合」という新しい接合の研究を行っています。接着剤のような媒介をせず、また熱を加えることなく異種材料を直接接合するので、分離も可能な、界面の新しいエコデザインの手法になるものと期待されています。●常温接合●高密度実装への適応●インターコネクト・エコデザイン●グローバル循環のエコデザイン

Website: <http://www.su.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [suga@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:suga@pe.t.u-tokyo.ac.jp)**鈴木研究室 [製造情報システム]**

本郷

**鈴木 宏正 教授**  
Hiromasa SUZUKI3次元モデリング  
デジタルエンジニアリング

心に響くデザインと品質の高いものづくりのための3Dコンピューティング技術について、その数理学的基礎から、実用化を目指したプロジェクトまで取り組んでいます。

●3Dスキャンデータ処理技術●3Dプリンター利用技術●3Dスキャンと3Dプリンタの融合化●産業用X線CTの画像処理技術●リバースエンジニアリング●デジタルエンジニアリング●ドライトデザイン技術

Website: <https://sites.google.com/site/fdenghome/> E-mail: [suzuki@den.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:suzuki@den.t.u-tokyo.ac.jp)**高増研究室 [精密測定]**

本郷

**高増 潔 教授**  
Kiyoshi TAKAMASU精密測定  
ナノメートル計測

ナノメートルからキロメートルまで、マイクロマシンから人体までの幅広い対象の形状や寸法を精密に測定、評価し、計測標準を確立することを目指しています。

●知的精密技術による超高精度測定の基礎研究●三次元座標計測における測定の不確かさの推定●複雑な三次元メカニズムのキャリブレーション●新しい測定システムの開発：ナノメートル三次元測定機/ナノメートル非球面形状測定機●ナノテクノロジーにおける標準の確立

Website: <http://www.nanolab.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [takamasu@pe.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:takamasu@pe.t.u-tokyo.ac.jp)**日暮研究室 [光マイクロ実装]**

本郷

**日暮 栄治 准教授**  
Eiji HIGURASHI光エレクトロニクス実装  
光マイクロシステム  
オプトメカトロニクス

次世代の情報システムを実現するうえで鍵を握る光マイクロ実装技術を研究しています。特に、多様な光素子を高密度集積するための異種材料接合技術、マイクロバンプ形成技術、およびこれら先端光実装技術を駆使した光マイクロセンサの研究を行っています。

●光集積技術●異種材料接合技術●マイクロバンプ形成プロセス●ウェアレレベルパッケージング●光マイクロセンサ●光マイクロマシン (MEMS)

Website: <http://www.su.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [eiji@su.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:eiji@su.t.u-tokyo.ac.jp)**三村研究室 [超精密加工]**

本郷

**三村 秀和 准教授**  
Hidekazu MIMURA超精密加工  
X線光学

表面科学現象、電気化学反応などさまざまな物理・化学現象を利用した、新しい超精密加工プロセスの開発を進めています。また、X線光学素子作製へ応用し、SPring-8、X線自由電子レーザーなどの放射光施設において、高精度ミラーを用いたX線集光・イメージングシステムの設計・開発を行っています。

●ナノ精度加工プロセスの構築●ナノ精度形状転写プロセスの構築●高精度X線光学素子の作製・評価●X線集光・イメージングシステムの設計・開発

Website: <http://www.edm.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [mimura@edm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:mimura@edm.t.u-tokyo.ac.jp)**山下研究室 [ロボット・センサ情報処理]**

本郷

**山下 淳 准教授**  
Atsushi YAMASHITAロボット工学  
画像処理  
コンピュータビジョン

人間の目の動きをコンピュータで実現する画像処理技術やセンサ情報処理技術を中心として、ロボット、マルチメディア、ヒューマンインタフェース、セキュリティ、外観検査など基礎理論から実応用まで幅広く取り組んでいます。

●自律移動ロボットによる環境センシング●劣化画像の情報復元と画像理解●ウェアラブル福祉ヒューマンインタフェース●ステレオカメラを用いた三次元計測●複数センサ情報の融合による知的センシング●自律移動ロボットの行動計画●群ロボットによる協調作業

Website: <http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/yamalab/> E-mail: [yamashita@robot.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:yamashita@robot.t.u-tokyo.ac.jp)**山本研究室 [人間機械システム]**

本郷

**山本 晃生 准教授**  
Akio YAMAMOTOメカトロニクス  
アクチュエータ  
触覚インタフェース

アクチュエータやハンドリングを中心としたメカトロニクス技術の研究を行っています。具体的には、触覚・力覚インタフェース技術の研究や、静電気力のロボティクス・メカトロニクス応用などに取り組んでいます。

●バーチャルな手触りを再現する触覚提示技術●視触覚統合サーフェスインタラクション技術●静電ロボティクス&メカトロニクス●MR-compatibleメカトロニクス技術と生体機能計測応用

Website: <http://am.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [akio@aml.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:akio@aml.t.u-tokyo.ac.jp)**梶原研究室 [接合加工・テラヘルツ工学]**

生産技術研究所

**梶原 優介 准教授**  
Yusuke KAJIHARA異材接合加工  
テラヘルツ顕微鏡技術

本研究室の軸はテラヘルツ (THz) 工学と接合科学です。前者においては世界に例を見ないパッシブ (外部照射光を用いない) かつナノスケールな THz 近接場顕微鏡を軸に、装置開発と応用展開を進めています。後者においては主に樹脂/金属間の異材接合における接合のメカニズムを解き明かし、新たな加工法を生み出すべく研究を進めています。●パッシブな THz 近接場顕微鏡技術の開発●熱励起イバネッセント波の検出と解析●超高感度 THz 検出器の開発●非侵襲な樹脂内残留応力評価法の開発●樹脂/金属間の異材接合技術の開拓

Website: <http://www.snom.iis.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: [kajihara@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:kajihara@iis.u-tokyo.ac.jp)

## 川勝研究室 [ナノメカニクス・ナノマシン・ナノ計測]

生産技術研究所



**川勝 英樹 教授**  
Hideki KAWAKATSU

走査型プローブ顕微鏡  
ナノメカニクス  
ナノツール作製と制御

本研究室では、カンチレバーを用いた計測を中心に、走査型力顕微鏡、微小質量検出、物質検出の研究を行っています。

●サブオングストローム振幅の原子間力顕微鏡●原子オーダの質量検出●液中原子間力顕微鏡●カンチレバー式物質センサ●ナノカンチレバー●組成同定装置

Website: <http://www.inventio.iis.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: kawakatu@iis.u-tokyo.ac.jp

## 金研究室 [ナノ・バイオ計測]

生産技術研究所



**金 範竣 教授**  
Beomjoon KIM

マイクロ要素構成学  
バイオ MEMS  
ナノバイオセンシング

高機能化・高集積化のバイオセンサーチップの実現を目指して、半導体加工技術と機械的なマイクロ加工技術、自己組織化を利用するボトムアップアプローチ手法を融合したナノ構造・デバイスの製作およびそのバイオセンサとしての応用に関する研究を行っています。●シャドウマスクを用いた多機能マイクロ・ナノパターニング●自己組織化単分子膜を用いたナノコンタクトプリンティング●保存可能な機能的マイクロプロテインチップの開発●単一細胞の電気・物理的特性を測る MEMS デバイスの開発●層流を用いた電気鍍金法によるマイクロ構造物の製作

Website: <http://www.kimlab.iis.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: bjoonkim@iis.u-tokyo.ac.jp

## 新野研究室 [付加製造科学]

生産技術研究所



**新野 俊樹 教授**  
Toshiaki NIINO

3D プリンティング  
Additive Manufacturing  
組織工学担体  
MID

三次元 CAD データを直接実体化する 3D プリンティング技術や、樹脂と金属など複合的材料構造をもつ部品を製造する技術など、新しい加工法の研究を行っています。また、これらの技術を用いて高次の機能形状を実体化し、新しい機能をもったメカトロデバイスや組織工学（再生医療）用のデバイスを創出することを目指します。●付加製造に関わる工法や材料の開発と高度化●組織工学（再生医療）用担体の 3D プリンティング●ラビッドマニュファクチャリング●射出成形の高度化によるアクチュエータや流体デバイスの製造

Website: <http://lams.iis.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: niino@iis.u-tokyo.ac.jp

## 藤井研究室 [マイクロ流体デバイス]

生産技術研究所



**藤井 輝夫 教授**  
Teruo FUJII

マイクロ流体デバイス  
細胞工学応用デバイス  
深海現場計測

半導体微細加工技術を応用してマイクロ・ナノスケールの構造体を製作し、これを用いて生体高分子や細胞、組織にかかわる新しい実験系の構築を試みると同時に、実用レベルのマイクロ流体システムの開発を進めています。●マイクロ流体デバイス製造基盤技術の研究●生体高分子反応/分析システムの研究●細胞組織培養デバイス（セルエンジニアリングデバイス）の研究●生殖補助医療応用デバイスの研究●深海環境における現場遺伝子解析システムの研究●分子計算応用デバイス（分子エンジニアリングデバイス）の研究

Website: <http://www.microfluidics.iis.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: tfujii@iis.u-tokyo.ac.jp

## 小谷研究室 [生体計測・生体信号処理]

先端科学技術研究センター



**小谷 潔 准教授**  
Kiyoshi KOTANI

生体信号処理  
非線形動力学  
ヒューマンインタフェース

近年の生物に関する計測・解析技術の進歩に伴い、生物は私たちの想像をはるかに超える精巧さ・精密さで必要な機能を実現していることが明らかになりつつあります。私たちは生体計測技術と数理解析理論（非線形動力学・統計物理学など）を融合し、複雑な生命現象の動作原理を明らかにすることを目指しています。また、得られた生命現象に関する知見を診断技術・リハビリテーション・マンマシンインタフェースなどに応用する研究を行っています。●脳内情報処理の解明●自律神経による循環器調節機構の解明●新しい Brain-Computer Interface の開発

Website: <http://neuron.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: kotani@neuron.t.u-tokyo.ac.jp

## 高橋研究室 [光製造科学]

先端科学技術研究センター



**高橋 哲 教授**  
Satoru TAKAHASHI

光応用ナノ計測・加工  
超解像  
セルインマイクロファクトリ

次世代の超精密ものづくりを実現するための、新しい加工・計測技術の確立を目指しています。特に、我々生命体の根源をなす“光”を媒体とした新しい超精密ナノ加工・計測技術に関する研究を推進しています。●超精密加工表面性状の局在フォトン応用ナノインプロセス計測技術の開発●変調照明シフトによる超解像インプロセス欠陥計測に関する研究●動的エナセメント光分布制御によるナノ光造形法の開発●光触媒ナノ粒子を用いた三次元マイクロ機能構造のレーザ直接描画法の開発●局在光制御によるセルインマイクロファクトリに関する基礎的研究

Website: <http://www.nanolab.t.u-tokyo.ac.jp/> E-mail: takahashi@nanolab.t.u-tokyo.ac.jp

## 太田研究室 [移動ロボティクス]

人工物工学研究センター



**太田 順 教授**  
Jun OTA

ロボット工学  
サービス工学  
生産システム工学

実世界で協調して動き回るエージェントの知能ならびに運動・移動機能の解明と設計を研究対象とします。動作計画手法、進化的計算、制御工学等を理論的基盤として、相互作用するマルチエージェントシステムの設計論の構築を目指します。

●マルチエージェントロボット：群知能ロボットの行動制御等●大規模生産/搬送システム設計と支援：ロボットマニピュレータシステムの配置・動作設計、搬送システム設計等●身体性システム科学、人の解析と人へのサービス：ヒトの姿勢制御機構の解析、看護業務の解析と支援等

Website: <http://www.race.u-tokyo.ac.jp/otalab/> E-mail: ota@race.u-tokyo.ac.jp

## 原研究室 [サービス工学]

人工物工学研究センター



**原 辰徳 准教授**  
Tatsunori HARA

サービス工学  
製品サービスシステム  
設計工学  
生産システム工学

これからのものづくりでは、製品にサービスを載せて提供することが求められます。製品やサービスの利用を軸にした設計・提供方法論の構築を目指して、サービス工学に関する研究を行っています。製造業による製品を伴うサービスに加え、観光などの顧客経験重視型のサービスにも取り組んでいます。

●サービス CAD システム：計算機によるサービスの設計支援●製品サービスシステム：製品とサービスの一体提供●利用者中心設計：サービス利用過程のモデル化と価値共創

Website: <http://www.race.u-tokyo.ac.jp/haralab/> E-mail: hara\_tatsu@race.u-tokyo.ac.jp

平成 29（2017）年度  
東京大学大学院工学系研究科  
精密工学専攻修士課程

入学志願者 指導教員申告用紙

指導教員  
申告用紙

Declaration form of professors  
whom the applicant desires to study under

平成 29（2017）年度  
東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻修士課程  
入学志願者  
指導教員申告用紙の記入要領

●指導教員 研究内容

各教員の研究内容については、本冊子の“精密系研究室紹介”や本専攻のホームページ <http://www.pe.t.u-tokyo.ac.jp/>を参照すること。

●指導教員の申告とその方法

入学志願者は入試案内書の第 8 項に示した指導教員の中から、指導を希望する教員を選び、それを指導教員申告用紙に記入し、8 月 30 日（火）の筆記試験の終了時に提出しなければならない。終了時に提出する際に、指導教員申告用紙に記入した内容を修正することを認める。指導教員申告用紙には、教員名を志望する順に 24 名（全員）まで申告することができる。教員ごとに受け入れ可能人数が決められているので、第 2 志望以下の教員が指導教員になる場合がある。また、志望が集中する指導教員だけを志望した場合は、不合格となる可能性がある。

平成 29 (2017) 年度  
 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻修士課程  
 入学志願者 指導教員申告用紙

Declaration form of professors whom the applicant desires to study under

注: この申告用紙は, 8 月 30 日 (火) の筆記試験の日に持参し, 提出すること.

Note: Bring this form on the 2<sup>nd</sup> day of the written examination (30 August).

1. 氏 名 (Name) \_\_\_\_\_

2. 生年月日 (Date of Birth, Year/Month/Day) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 生

3. 志望指導教員 (Professors)

志望順位 (priority)	教員名 (name of professor)	志望順位 (priority)	教員名 (name of professor)
1		13	
2		14	
3		15	
4		16	
5		17	
6		18	
7		19	
8		20	
9		21	
10		22	
11		23	
12		24	

- ☆ 教員名を, 志望する順に 24 名 (全員) まで申告することができる.
- ☆ 教員ごとに受け入れ可能人数が決めているので, 第 2 志望以下の教員が指導教員になる場合がある.
- ☆ 志望が集中するような指導教員だけを志望した場合は, 不合格になる可能性がある.
- ☆ 事前に記入しておくこと. 但し, 筆記試験終了時に提出する際に, 本用紙に記入した内容を修正することを認める.





# 試験場案内 (東京大学本郷キャンパス)

Campus Map for the Examination  
(Hongo campus, the University of Tokyo)

## 地下鉄利用 Subway

本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)徒歩20分  
Hongo-sanchoe Station (Subway Marunouchi Line) 20min. walk

本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)徒歩20分  
Hongo-sanchoe Station (Subway Oedo Line) 20min. walk

根津駅(地下鉄千代田線)徒歩15分  
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min. walk

東大前駅(地下鉄南北線)徒歩10分  
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min. walk

その他のアクセスについては次を参照のこと  
Refer to the following for other accesses

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html)

